

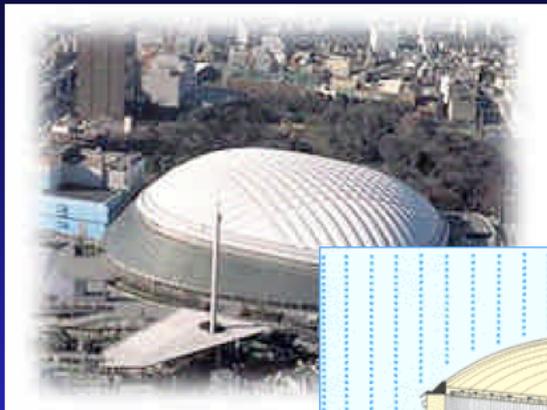
水の再利用

行政の取り組み(大阪市)

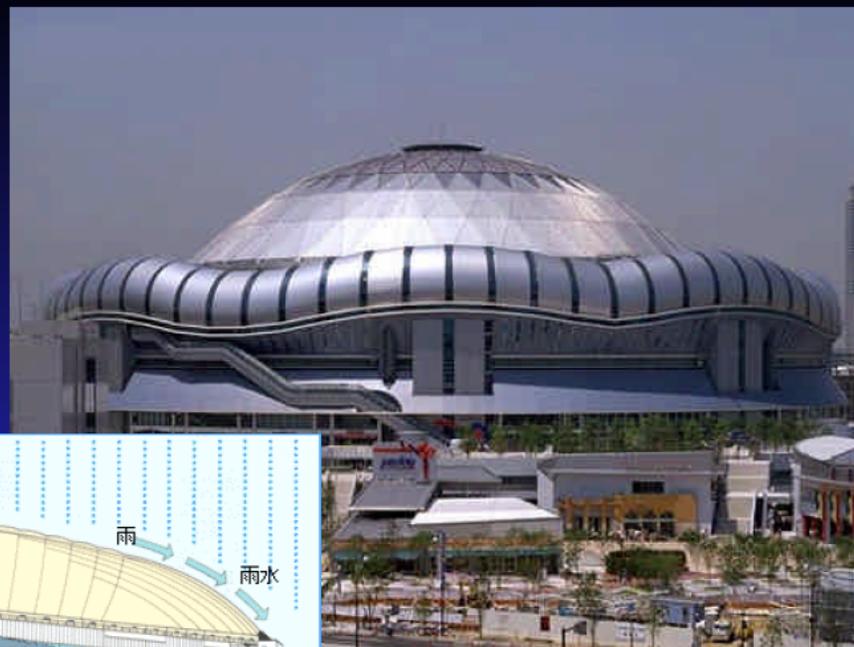
- 大阪市「大規模建築物の建築計画の事前協議に関する取扱要領」(昭和49年5月施行)
- 主な内容
 - 一定規模以上の建造物(住宅用で70戸以上のもの、建築計画区域が2,000m²以上で地上の高さが10m以上のもの、延べ面積が5,000m²を超え地上6階以上のもの)のうち、1日最大使用水量が1,000m³/日以上(住宅用を除く)の建築物を建設しようとする事業者は、水の循環利用等について協議する。

雨水利用

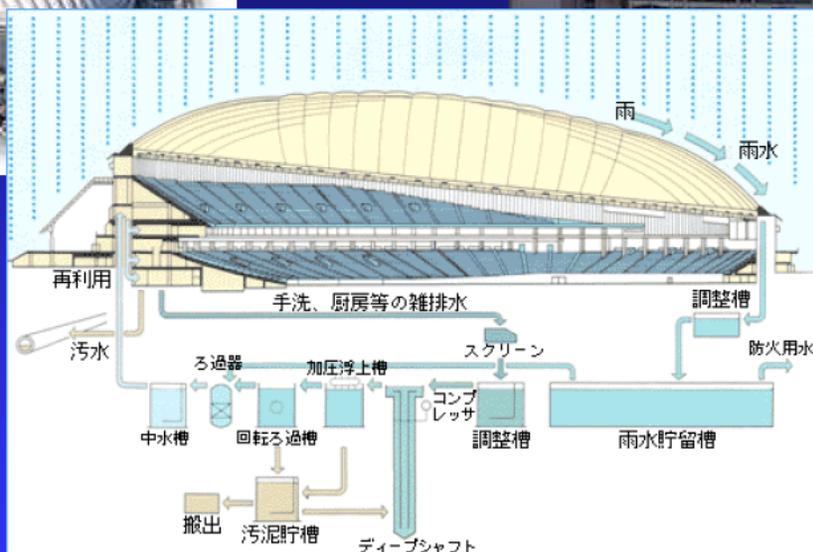
雨水利用の実施状況



(東京ドーム)



(大阪ドーム)



- ・ 雨水利用は、依然解決すべき課題が残されているものの、都市に降る自前の水源として積極的に活用しようとする試みが各所で進められており、雨水は、平成11年度末現在、全国の雑用水利用施設のうちの約38%に当たる934の施設において、水洗トイレ用水等の雑用水として利用され、その水量は年間約700万m³と推計される。

2.2 野洲川



●野洲川

水道	
工水	
農水	7.826
雑用水	
合計	7.826

直轄管理区間のみ

私たちは野洲川の水をわけあって
くらしています。



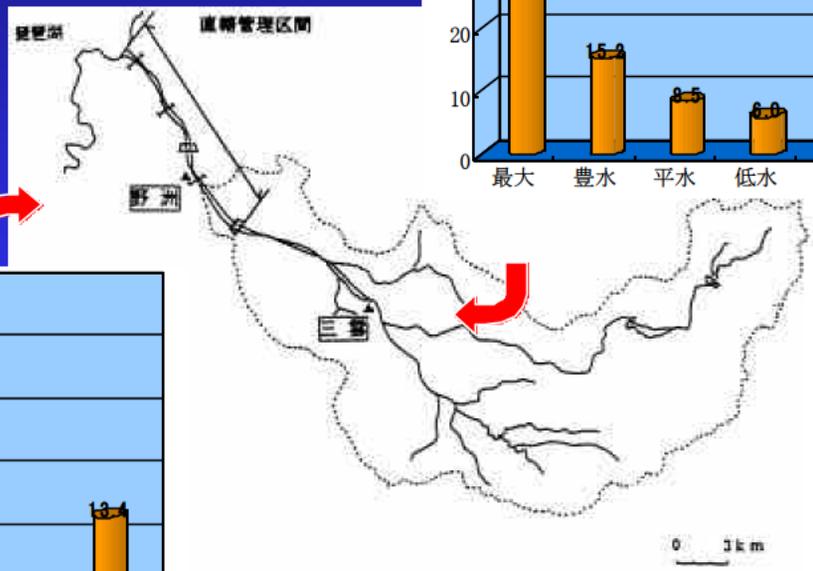
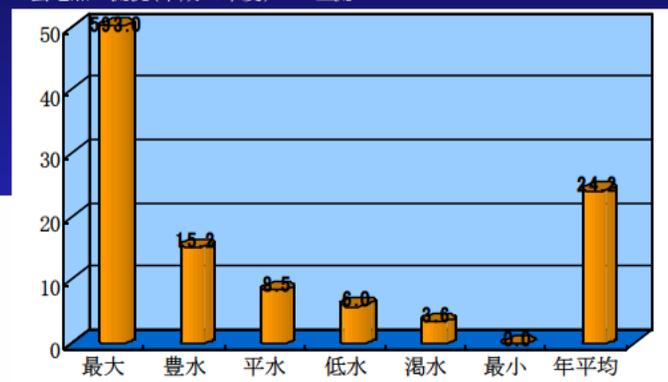
2.2 野洲川

河川の水量

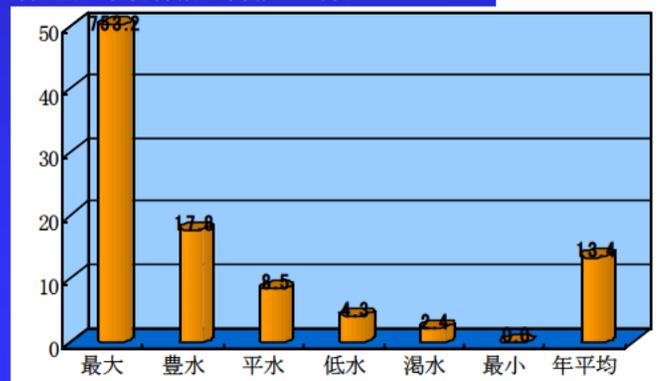
【流況】

下流の野洲地点の水量が少ない傾向にあります。

三雲地点の流況(平成10年度) ~上流~



野洲地点の流況(平成10年度) ~下流~



「流量年表 平成10年」

※『流量年表(平成10年)』

河川の水量

【瀬切れの状況】

石部頭首工から服部大橋にかけて、瀬切れがおこることがあります。

石部頭首工～服部大橋では



ほとんど水が流れていないときがあります。

服部大橋付近では



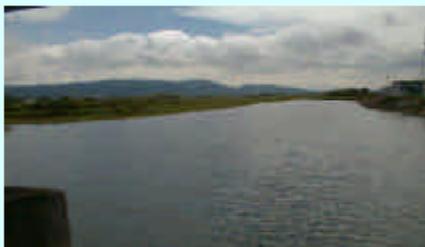
少しの水が流れています。

石部頭首工からの水路では



たくさんの水が私たちの暮らしに使われています。

石部頭首工上流では



たくさんの水が流れています。



「平成12年8月撮影」

2.3 姉川

流域の水利用の概要

姉川流域の用水源は、河川からの取水が大部分を占めていますが、扇状地を開けた地形であるため、用水が不足しています。そこで、琵琶湖の水を余呉湖へ揚水するなどの水利用を行っています。

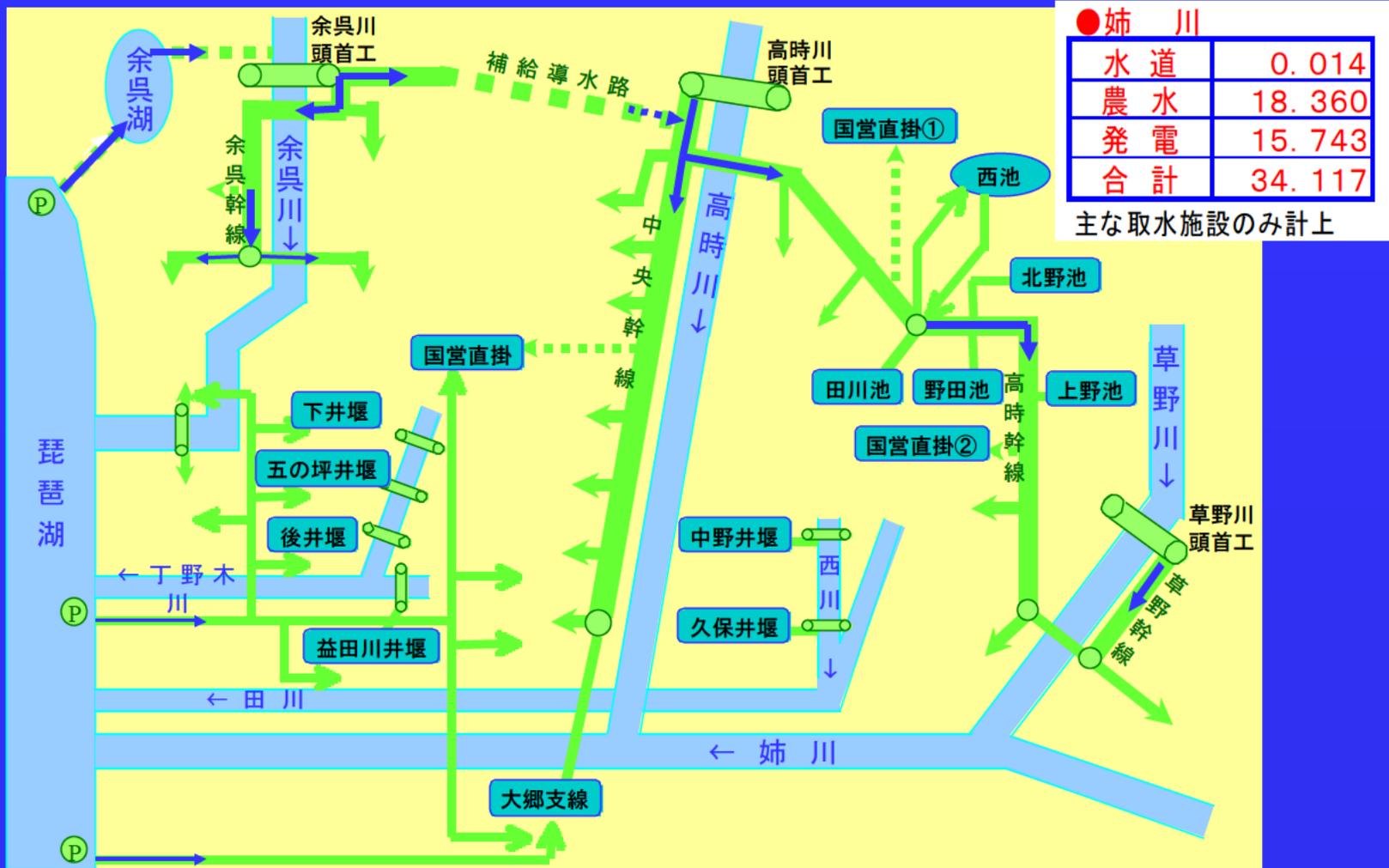
しかし、このような水利用が進んだ結果、下流は年間を通してほとんど水がない状態です。

余呉湖補給
揚水機場



水利用の現状

姉川の水は主に農業用水として利用されています。



姉川の流況の現状

調査地点	豊水	平水	低水	渇水	年平均	備考
姉川ダム	2.5	1.8	1.5	1.2	2.2	H1~11 平均
菅並	11.00	6.51	3.93	1.72	9.12	H1~9 平均
野寺橋	17.48	8.55	1.75	0.07	13.66	H1~4 平均

(単位: m³/s)